

進路だより

令和5年4月14日

いよいよ3年生

進級おめでとうございます。いよいよ3年生ですね。今年度でみなさんもついに「義務教育の終了」を迎えます。義務教育を終了するという事は、そこから先は自らの選択と決断で人生を歩み始める、ということです。

ほんの少し前までランドセルを背負っていたみなさんが、初めての人生の決断をするということで、保護者の皆様にとっては、時の流れの速さを実感されているところだと思います。

皆さんにとっても、2年生の終わりごろから、「来年度はいよいよ受験生か・・・」という思いを抱きながら生活していた人も少なくないと思います。「よくわからない」「不安が大きい」などたくさんあるとは思いますが、担任の先生を中心に皆さんの進路選択について全力でサポートしていきます。皆さん自身、家庭、学校の全員で着実に前進していきましょう。

大人たちの思い

進路を考えるにあたって、みなさんの希望を第一に考えていくわけですが、皆さんを支える保護者の方々や先生たちの思いというのは、「豊かな人生を歩んでほしい」ということです。中学卒業後の次の3年間だけではなく、その先も豊かで幸せな人生を歩んでほしいということです。

次の3年間だけにとらわれることなく、さらにその先も、豊かで健康な人生を歩んでほしいということが我々大人たちの共通の願いです。そのために、成績や立地だけでなく、今後の人生を考えた、広い視野で次の進路を考えてほしいと思っています。

何から始めるか

まず「知る」というところから始まります。

- ・ どんな学校があるのか(学校の種類、学習できる内容)
- ・ どんな場所にあるのか(徒歩、自転車、公共交通機関)
- ・ その上級学校を卒業したあと、どんな進路を選んでいる先輩が多いのか(さらに先の進路)
- ・ 自分がどんな人生を歩みたいのか(将来の夢、希望する職業)
- ・ 自分が何を学びたいのか、何を頑張りたいのか(勉強、部活、習い事)
- ・ 学費はどれくらいかかるのか(公立、私立、交通費)

ちょっと思い浮かべるだけでも、考えるべきことがたくさんあります。まず「自分がどうしたいか」ということがスタートになります。つまり、「自分自身についてしっかりと考える」ことが進路選択の第一歩です。「それが難しいんだよね～」という人もいるでしょう。しかし、義務教育を修了するという事は、自分自身をしっかりと見つめる作業から逃れることはできません。

なかなか具体的に考え始めることが難しいかもしれませんが「自分がどんな高校生活を送りたいか」くらいから考え始めてもいいかもしれません。先生たちはいつでも力になります、気軽に相談してください、少しずつ前進しましょう。